



「荒野に希望の灯をともし」
上映会開催

2月16日、舟形小学校で町制施行70周年記念事業、映画「荒野に希望の灯をともし」舟形町上映会が開催されました。この映画は、中村哲医師の生き様を追うドキュメンタリー映画です。当日は午前と午後2回上映され、175名が来場しました。

この事業は、最上管内の市町村が進める「映画『荒野に希望の灯をともし』新庄・最上プロジェクト」の一環として、舟形町でも「映画『荒野に希望の灯をともし』舟形上映実行委員会（町青少年育成町民会議）」により開催されました。



豪雪対策本部を設置

2月6日時点での積雪深が、松橋観測点で206cm、西又観測点で170cm、舟形観測点で150cmとなり、舟形町豪雪対策本部設置基準の150cmに達したことから、雪による事故や被害を未然に防止するため「舟形町豪雪対策本部」を設置しました。ビニールハウス等の倒壊などに注意するとともに、作業を行う場合は十分な安全対策を行なってください。

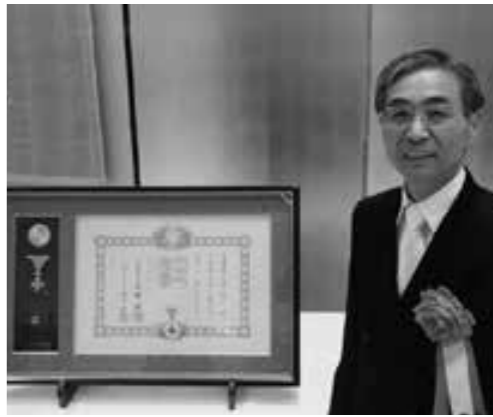
2月6日付で配布した『舟形町豪雪対策本部』を設置しました。中には、除雪中の事故防止のポイントや、町指定の排雪場所などをお知らせしています。



加藤修一さん 最上小国川
写真コンテスト最優秀賞

2月4日、中央公民館で第9回最上小国川写真コンテスト表彰式が開催され、加藤修一さん（長沢第2）が作品「初めてのヤナ漁」で最優秀賞を受賞しました。町内在住の方が最優秀賞を受賞するのは8年ぶり2回目です。この作品は、孫の嘉さんが築で鮎をつかみ、喜ぶ瞬間を撮影したものです。

加藤さんは、この作品について「小国川は私にとって『父なる川』。大好きな小国川と生きいきとした孫の姿を撮影しました。思いがけず素晴らしい賞をいただくことができ、目頭が熱くなりました」と話していました。



齊藤渉さん
瑞宝双光章

令和6年「秋の叙勲」で前教育長の齊藤渉さん（内山）が瑞宝双光章を受章しました。

齊藤さんは、日新小学校長として退職するまで、教員として31年間務められ、この間、新庄市学校教育課長、最上教育事務所長を務めるなど、最上地区の教育行政の中枢として、教員の指導や教育課題の解決に努められました。平成25年度からは舟形町教育長に就任し、総合教育会議、学校運営協議会、コミュニティスクールの立ち上げなど、重要課題に取り組まれ、町教育行政にも多大な貢献をいただきました。



専門職大の学生と
子どもたちの交流



バレンタインデー
イベント



将来への決意や目標を
伝統の立志式

2月11日、「舟形元気プロジェクト」による交流会が開催され、ひっぱりうどんなどを体験しました。

2月14日、舟形町観光物産センターがみで来場者にチョコレットがプレゼントされました。

2月19日、立志式で舟形中学校2年生は「幸」や「笑」などの漢字で将来への決意を発表しました。

2月2日、長沢子ども遊々塾が開催され、そのりやタイヤチュール滑りなどの雪遊びをしたほか、餅つきもしました。長沢子ども遊々塾は、自然・文化体験、地区住民との交流をとおして心豊かな子に、そして地域に愛着を持った大人に成長することを目的に、活動を続けています。

2月9日、あゆっこ村で舟形若あゆ温泉雪原ライトアップ2025点灯式が開催され、雪原が幻想的に彩られました。このイベントは、町の冬を楽しめるイベントの開発を目指し、町観光物産協会が主催となり実施しているものです。このライトアップは3月9日まで行われます。



しげちゃん一座の
読み聞かせ講演会開催

2月1日、中央公民館で町制施行70周年記念事業として、『しげちゃん一座』の室井滋さんと長谷川義史さんによる絵本作家読み聞かせ講演会が開催されました。当日は「しげちゃん」などの絵本の読み聞かせのほか、室井さんのエッセイに合わせて長谷川さんが模造紙に筆で絵を描く「絵本ライブ」が開催され、会場は笑いに包まれました。

なお、この事業はやまがた地域創生事業助成金を活用して、舟形町読み聞かせボランティア連絡協議会が主催となり実施されました。



長沼亮介さん
最上地域農林水産業若者賞

2月7日、最上総合支庁で令和6年度最上地域農林水産業若者賞表彰式が開催され、長沼亮介さん（富田第2）が受賞しました。

長沼さんは、米の栽培技術の向上に努め「米に特化した農業」に取り組んでいます。高齢化や過疎化により離農者が増えている中で、地域の中心経営体として農地の引き受け手となっているほか、経営安定化のため農作業委託を積極的に行なっています。また、令和5年度には山形県青年農業士に認定され、高品質なつや姫の生産のための栽培指導を行うなど、地域農業の発展に尽力しています。